

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： エネシフ湖北

上位関連計画にみる地域の将来  
 ○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成  
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質GDP）35%減。  
 ○現在の長浜市の人口：11.3万人、将来：8.7万人（2050年）（長浜市人口ビジョンR2.3月）

②具体的な取組  
 エネシフ湖北が、イベントやワークショップ等を通じて、地域のさまざまなプレイヤーを繋ぎ、新しいビジネスや地域プロジェクトを作り出すこと。また、それらについて情報発信を行うこと。

①ありたい未来  
 ※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください  
 → エネルギーシフトに関連するローカルビジネスが成長し、地域で資源もお金もまわる仕組みをつくること。その結果、歴史や文化、自然や、市民のシビックプライドの高い長浜らしい街・田舎を次世代に引き継ぐこと。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	実績値 (2023年度末)	単位
環境	環境ビジネスの活性化	森川里湖を生かした地域ビジネスのタネの数	3	3	3	個
経済	地域内経済循環の実現	事業のタネの数	4	3	4	個
社会	新たな人材の発掘、交流	ミートアップ参加者延べ数	133	100	133	人
	地域での活動の活発化	地域部活の数	0	1	1	-
	情報発信	情報発信 記事投稿数	9	10	10	本

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	脱炭素化の達成	再エネ導入量	不明	-	2030年度	検討中	
	環境ビジネスの活性化	森川里湖を生かした地域ビジネスの数	0	-	2030年度	10	-
経済	創出された地域付加価値	地域付加価値分析による付加価値額	不明	-	2030年度	検討中	
	雇用創出効果	雇用創出人数	0	-	2030年度	検討中	
社会	移住者の数		2	-	2030年度	検討中	
	地域部活の数		0	-	2030年度	検討中	

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

まず、ミートアップを通じて、地域のプレイヤーが繋がり、事業のタネや地域部活のタネが作り出される。また、情報発信を行うことで、それらの取組を可視化し、さらに地域内外の新たな人を巻き込む。こうした取組を継続していくことで、地域の脱炭素化が進むとともに、地域内経済循環に繋がる。さらに、魅力的な雇用や地域活動にあふれ、それらに共感する意欲的な人材が挑戦するフィールドとして、次々の地域に移住するような循環を実現する。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください